北海道倶楽部
毎月１回１日発行 定価８０円
公益社団法人北海道倶楽部
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所1 階
TEL 03-3581-4021 FAX 03-3581-4022
E-mail hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp
http://www.hokkaido-c.or.jp/

We Love Hokkaido 北海道 "NOW" KITAKARA

北海道情報紙 知らないこと いっぱい！！

HOKKAIDO CLUB SINCE 1927

日ハム通算5000勝達成

プロ野球史上７球団目



プロ野球北海道日本ハムが5月3日、本拠地エスコンフィールドで行われたオリックス9回戦に勝利し、1946年に発足した前身のセネタース以来の勝利数を、プロ野球史上7球団目となる5000勝とした。

通算成績は5000勝5381敗394分。北海道移転後では、2011年7月27日のオリックス12回戦（帯広の森球場）の4000勝目を含め、通算1566勝1480敗93分けの好成績を残している。

前監督として10年間で684勝を挙げた、栗山英樹さん（チーフ・ベースボール・オフィサー）は「大きな節目の勝利を刻んだことをうれしく思う。この1勝を通過点にして、さらに球団の歴史を紡いでいってほしい」とコメントした。

過去に5000勝に達しているプロ野球チームは、巨人、阪神、中日、オリックス、福岡ソフトバンク、埼玉西武の6球団。

春の叙勲北海道から178人
受章者数全国で4番目
小樽商大遠藤名誉教授ら

春の叙勲で、道内からは178人が選ばれた。道内在住者では、小樽商大名誉教授の遠藤薫さん（80）や元北海道副知事の窪田毅さんら13人が瑞宝中綬章を受章した。

政府の発表では、全国の受章者は旭日章853人、瑞宝章3875人。このうち道内在住者は旭日章35人、瑞宝章143人の計178人で、東京都、神奈川県、千葉県に次いで4番目に多かった。

全国の受章者のうち、女性は445人で全体の11・5％を占め、民間人は1838人で全体の47・4％。

主な道内在住の受章者は、13人の瑞宝中綬章のほか、元美唄商工会議所会頭の古谷野環さん（74）ら3人に旭日小綬章、元北海道農業共済組合組合長理事の岡田恒博さん（75）ら29人に旭日双光章、七飯町商工会会長の川又修治さん（76）ら3人に旭日単光章が贈られた。

★北海道倶楽部会報は、北海道新聞社から記事、写真の協力を得て、作成しています。

倶楽部の存在意義を高め、次の未来へ

小林会長 就任あいさつ

3月開かれた**北海道倶楽部**の2025年度定時総会で、会長、理事長がそれぞれ交代した。会長には小林敬一さん（古河電工取締役会長）、理事長には有末真哉さん（前倶楽部副理事長）が就任。来年に迫った、倶楽部創設100周年記念事業の成功を訴えるとともに、「100年を超え、次の未来へ」と、会員らに呼びかけた。2人の就任あいさつ、抱負を会報6、7月号で紹介する。6月号は小林会長。


小林敬一会長

北海道倶楽部は1927年（昭和2年）に新渡戸稲造博士らによって設立されて以来、北海道に縁を持つ首都圏在住者が結束し、北海道の開発と発展を支援する会として歩んでまいりました。来年は100周年を迎えます。

これまでの活動を通じて、北海道への理解と関心を高めるとともに、人々の親睦を深め、次世代を担う若い人々へ活動を継承していくことが大切です。そして、日本が成長していくうえで、北海道の価値は他では代替できないものとなりつつあります。その実現を力強く進めるためにも、倶楽部の支援は重要です。北海道は、「支えられる地域」から、「日本を支える地域」へと変わろうとしているのです。

私が皆様と共に進めていきたい倶楽部の活動は、主に以下の6項目です。

①北海道の現状を日本国内に紹介する広報活動。広報誌「北海道NOW」の発行やウェブサイト等による、北海道の歴史、現状やポテンシャルの紹介（先住民族のことも含む）。倶楽部を知ってもらう努力、ならびに各地域との絆を強める方策についての、さらなる深掘り。

②北海道庁主催の地域活性化事業の支援。ふるさと納税への協力、北海道応援団会議との協業、北海道新幹線札幌延伸や北海道バレー構想実現への支援等。

③国主催の北方領土返還活動への協力。対策協議会の活動、都内での行進、シンボルバッジ等への協力。

④首都圏企業・大学と各自治体・事業の連携推進支援。北海道大学等との連携を含む、農林水産業・観光業等の産業育成、都市構造研究、健康寿命伸長に資する医療改革等の推進支援。

⑤首都圏で北海道に縁のある若い人々、ならびに道内で北海道改革に志を持つ人々に対する、北海道の歴史とポテンシャルに関する教育・啓発活動・講演会等の実施。

⑥世界が一体となって進めている脱炭素・GXの取り組みに関し、④の活動とも連動しながら、北海道が担う役割の明確化と推進。

以上が活動内容です。特に今後のテーマとして重要である⑤に注力し、北海道倶楽部の存在意義を高めたいと考えています。皆さん、相互協力しながら、倶楽部の活動を次の100年へと紡いで参りましょう。

略歴
1959年生まれ。1985年早稲田大学大学院理工学研究科修了後、古河電気工業入社。研究所、工場勤務のち、原価低減推進部長、巻線事業部長、銅条・高機能材事業部門長、自動車・エレクトロニクス材料事業部門管掌、グローバルマーケティングセールス部門長などを経て2017年4月に代表取締役社長就任。2023年4月取締役会長に就任。北海道室蘭市出身。

一言メッセージ

2019年（平成31年）から会長を務められた川村氏より、その役目を引き継ぐこととなりました。新渡戸稲造博士らが創設された北海道倶楽部は、まもなく100周年を迎えます。この歴史を守るだけでなく、次の100年へどう繋ぐか。倶楽部の歴史の重みを感じ、そして紡ぎつつ、改革の歩みをさらに加速することが必要です。

北海道は今、食料、エネルギー、GX、観光など、日本の未来を支える大きな可能性を持つ地域へと変わりつつあります。だからこそ北海道倶楽部もまた、「親睦の場」に留まるのではなく、北海道と日本の未来に貢献する存在へと進化していかなければなりません。皆さまと共に、歴史を紡ぎ、未来を創っていきたいと思います。

長い間倶楽部を支えてきた会員の皆さまに、新会員の皆さまも加わっていただき、より一層発展させ、倶楽部の役割を深め、公益事業を推進して参りましょう。イベント等で皆さまにお会いできるのを楽しみにしております。

知事エッセー ～オホーツク管内で～



北海道知事の鈴木直道です。今回、私が訪問したのは、オホーツク管内興部町の「ノースプレインファーム株式会社」です。

安全・安心でおいしい牛乳や乳製品づくりに取り組まれている皆さんは、有機農法を用いて自分たちの手で作った牧草で乳牛を育て、ストレスをかけない放牧といったスタイルを貫かれ、自然のままの味わいを大切にされています。

当日は、自社産のチーズをふんだんに使ったハンバークをいただき、搾りたての牛乳の風味を感じるフレッシュでクリーミーな味わいで、とても美味しかったです。

また、大黒社長から「商品を売るだけではなく、牛乳や乳製品をきっかけとして、興部町への来訪に繋げる仕掛けづくりにも取り組んでいる」とのお考えも伺い、酪農を通じてオホーツク地域の発展を目指し、実践し続けられる姿に大変感銘を受けました。



同社の商品は日本各地に取扱店があります。ぜひ多くの皆さんにご堪能いただき、現地にもお越しいただきたいと思います。

道としても、関係する皆様と連携を図りながら、本道の魅力のつまった酪農や地域の一層の発展に向け取組を進めます。

ふるさとの本ご案内 北海道新聞社



道南エリア10年ぶりの改訂
新 夏山ガイド5 道南・胆振
長谷川哲 著
B6判 256頁 定価2640円
白水岳を復活掲載し、七ッ岳、庄司山は新コースを紹介する。ホロホロ山、徳舜瞥山など胆振地域の山々も収録。



道内のおでかけスポット500カ所を紹介！
北海道大人の日帰りスポット 2026−27
花岡俊吾 著 A5変型判・オールカラー
288頁 定価2200円
定番の観光地、話題の名所、絶景、一度は行きたい博物館・美術館、地元の商店や道の駅・直売所など、バラエティ豊かに紹介。

北海道新聞社出版センター 〒060-8711 札幌市中央区大通東4丁目1
TEL 011-210-5744 受付 9：30～17：30（土日・祝日を除く） 価格は税込
出版センターにお電話いただければ直接手配もいたします(代引き・送料別途)
お求めは書店またはインターネットで

赤字８区間「上下分離方式」提案へ

ＪＲ北

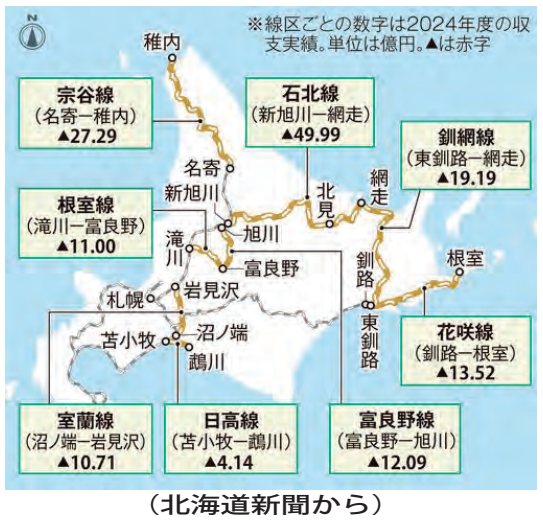
ＪＲ北海道（**北海道倶楽部会員**）は、単独では維持困難な赤字８区間（通称・黄色線区）を存続させる仕組みとして、運行主体と線路や駅舎などの維持管理を担う組織を分ける「上下分離方式」を、北海道や沿線自治体に提案する。今後、地域ごとの協議に入りたい考えだ。黄色線区を巡り、ＪＲ北は国から２０２６年度中の「抜本的な改善方策」の取りまとめを求められている。

宗谷線・名寄ー稚内間　石北線・新旭川ー網走間など

黄色線区は、ＪＲ北が線・新旭川ー網走間、釧網線・東釧路ー網走間、花咲線13区間のうち、輸送密度（1キロ当たりの1日平均輸送人員）が２００人以上２０００人未満の区間。宗谷線・名寄ー稚内間、石北線・新旭川ー網走間、釧網線・東釧路ー根室間など、「長大区間」が含まれる。

ＪＲ北は、国や自治体の支援を前提に、存続させる方針を示し、新たな仕組みを検討してきた。上下分離とは、列車の運行など「上」部分は鉄道事業者が担い、線路や施設など「下」の部分を自治体などが保有するからだ。線路などの維持管理が鉄道事業者から切り離されれば、経営難が続くＪＲ北の費用負担が軽減されるからだ。

ＪＲ北海道の黄色線区８区間



（北海道新聞から）

ＪＲ東日本の只見線（福島県）、京都丹後鉄道など、全国のローカル線で導入例が多い。

ＪＲ北は16年の黄色線区発表当初から、存続策の一つに上下分離を示していたが、財政負担に慎重な自治体側の反発もあり、議論は立往生していた。

ただ、黄色線区の赤字総額は24年度で１４８億円にも上り、「基本指標」とする17年度に比べ13億円も増えている。国の求める期限まで１年を切る中、ＪＲ北は上下分離の議論を「これ以上先送りはできない」と判断した。

自治体側が負担を受け入れなければ、線区によっては廃止につながる可能性も否定できず、今後の交渉は難航が必至だ。

堀達也・元北海道知事が死去

全国に先駆け「時のアセス」導入

１９９５年から２００３年まで２期８年間、北海道知事を務めた堀達也さんが５月16日、肺腺がんのため札幌市内の病院で死去した。90歳だった。

樺太（現ロシア・サハリン州）出身。知事在任中は、大型の公共事業を見直す「時のアセスメント」を打ち出すなど、道政改革に取り組んだ。

北大農学部卒、１９５８年、道庁入り。主に林務畑を歩き、横路孝弘道政で知事室長、副知事などを歴任、95年、社会党などの支援を受け４人が出馬した知事選を制した。

知事就任後は96年の豊浜トンネル事故、北海道拓殖銀行の破綻への対応に当たった。97年、全国に先駆けて大型の公共事業・政策を見直す「時のアセスメント」の導入を表明、士幌高原道路など大型事業の中止を決断した。

２期目の99年の知事選では、自民党など主要５党の相乗りで再選。道内に「高レベル放射性廃棄物（核のゴミ）は受け入れがたい」として、都道府県で初めて核抜き条例を制定した。

引退後は、札幌大理事長、北海道開拓記念館（現・北海道博物館）館長、北海道スポーツ協会会長を務めるなど、幅広い分野で活躍した。

帯広市長に新人上野氏　現職米沢氏に競り勝つ

任期満了に伴う帯広市長選は４月12日、投開票され、新人で前市議の上野庸介氏（52）＝無所属＝が、現職の米沢則寿氏（70）＝無所属＝、新人で弁護士の柏尾哲哉氏（59）＝無所属＝を破り、初当選した。４期16年にわたって市長を務めた米沢氏の再選はならなかった。

上野氏は「閉塞感と停滞感しか感じない」と、米沢市政からの転換を主張。子育て支援の拡充、観光振興などを訴え、無党派層を中心に取り込みをはかる一方、自民党をはじめとする保守層の支持も集めた。

米沢氏は産業振興策「フードバレーとかち」や財政健全化など、これまでの実績を強調したが、多選批判の逆風で伸びを欠いた。柏尾氏は所得向上、市民の声に基づく市政の実現などを訴えたものの、及ばなかった。



当選が決まり喜ぶ上野氏（北海道新聞社提供）

帯広市長選結果

（投票率 47・14％）

当	29,499	上野庸介	無新
	22,116	米沢則寿	無現
	10,996	柏尾哲哉	無新

ＪＴＢ社長に札幌出身青海氏

旅行大手のＪＴＢは、札幌出身の青海友常務執行役員（55）が、社長に昇格する人事を決めた。６月30日開く株主総会後の取締役会で、正式決定する。

青海氏は札幌光星高、横浜市立大卒。１９９３年、日本交通公社（現ＪＴＢ）に入社、札幌支店を皮切りに、ＪＴＢ北海道本社総務課長兼経営企画課長などを務めた。

２０２１年にＪＴＢの総合企画担当執行役員に。米国子会社社長などを経て、今年１月からは常務執行役員として、長期ビジョン戦略の推進に取り組んでいた。

青海氏は記者会見で、実店舗を持たずインターネット上で旅行商品を販売する業種が増えている、業界の現状を指摘。「国内旅行のマーケティング戦略を作り直し、顧客に選ばれるサービスや特徴ある体験を提供できるよう努力したい」と話した。

また、中東情勢の不安定化による業界への影響を懸念し、旅行分野以外の事業を進める考えも示した。

水素機器開発へ新会社設立

北洋、道銀、トヨタ北海道など

北洋銀行（**北海道倶楽部会員**）や北海道銀行（同）、トヨタ自動車北海道（苫小牧）など６社は、道内の再生可能エネルギーでつくるグリーン水素を、高効率で使う技術や製品を開発する新会社「Ｈ２ほっかいどう」（札幌）を設立した。寒さが厳しい道内での使用に耐える暖房・給湯機器の実用化を急ぎ、札幌市が２０３０年を目指す水素供給網の実現をバックアップする。

水素は環境にやさしい一方、活用のためのコストは高い。地方でつくった水素を札幌に安く運ぶ方法も研究、企業も家庭も導入しやすくする。

他の３社は水素ストーブの開発に取り組む、サッポロ土谷ホールディングス（ＨＤ、札幌）、化学メーカーのトクヤマ（山口県）、みずほ銀行（東京）。資本金７６２５万円、社員４人でスタートした。

水素は燃やしても二酸化炭素（ＣＯ２）が出ない次世代燃料だ。昨年６月、札幌市と道内外の40企業・団体（現在は60企業・団体）が道内の太陽光や風力由来のグリーン水素の供給網を整える協議会を立ち上げた。検討する中で、水素を使いやすい環境を早期に整えるため、新会社の設立を決めた。

新会社はサッポロ土谷ＨＤ関連会社の土谷製作所（札幌）内に置く。各社が蓄積したノウハウを持ち寄り、水素を燃料に使う暖房や給油ボイラー、ストーブなどを開発、工場や家庭向けに販売する。

水素の製造プラントは道南や道北に建設する方向だ。気体や液体で運ぶのが一般的だが、固体で輸送する方法の実用化も目指すという。

新入会員

維持会員

▼株式会社カナモト（代表取締役社長　金本　哲男氏）

登録会員　金本　哲男氏

「ノースマン」期間限定で東京駅に

「首都圏で知名度アップを」



看板商品「ノースマン」でおなじみの千秋庵製菓（札幌）が、４月から期間限定でＪＲ東京駅構内に専門店を開業＝**写真**＝、旅行客や通勤客らの人気を集めている。９月中旬ごろまで営業予定で、首都圏や全国でノースマンの知名度を高めるのが狙いだ。

同社が道外で長期間、店を構えるのは初めて。パイ生地で道産小豆のこしあんを包んだ「ノースマン」（５個入り１１００円）や、生クリームを加えた「生ノースマン」（４個入り１２８０円）など人気商品を販売している。

新作の「生ノースマン抹茶」（４個入り１５８０円）並び、店舗前はインバウンド（訪日客）らの姿も目立つ。

同社は２０２９年６月期に売り上げを、26年６月期の約25億円（見込み）から50億円に倍増させる目標を掲げている。

中西克彦社長は「道内だけでなく日本全国、海外に向けてお菓子届ける必要がある。まずは日本の玄関口である東京駅で、たくさんの人に商品を知ってもらいたい」と話した。

北海道新聞社の本

★第２版　新夏山ガイド１　道央

長谷川哲　著　Ｂ６判　３０４頁　定価２８６０円

藻岩山、恵庭岳、羊蹄山など札幌近郊、支笏湖、ニセコ、積丹半島周辺の47座、約85コースを収録。アクセス情報を更新した第２版。



★北海道日本ハムファイターズオフィシャルガイドブック２０２６

北海道新聞社　編　Ａ４判　１１２頁　定価１６５０円

２０２６北海道日本ハムファイターズのすべてがこの１冊に。全選手の紹介、選手対談やインタビューなど読み物も満載の公式ガイドブック。

★道新プラス　道新受験情報　２０２７大学・短大特集

北海道新聞社　編　Ｂ５判　２３６頁　定価９９０円

全道高校別大学合格者数を速報。北大、小樽商大、札医大など道内全大学と道外難関大のランキングを掲載。特集は道内・大学がある街案内。バイト、たまり場、就職先などを紹介。

壮瞥町のご紹介
そうべつ

「そうきたか！そうべつ」観光スポット

洞爺湖、有珠山、そして昭和新山等、壮瞥町にはダイナミックにして美しい景観があふれており、これらは地球誕生から続く大地の活動によって作り出されてきました。そのうちのいくつかを、皆様にご紹介いたします。

○洞爺湖

11万年の時の流れを今に伝える洞爺湖は、今から11万年余り前の火砕流を発生する巨大噴火で生まれたカルデラ湖です。火砕流の噴出源が陥没して「洞爺カルデラ」ができ、さらにその窪みに雨水等がたまって洞爺湖が誕生したのです。

洞爺湖は、支笏洞爺国立公園の中心となる湖で、面積は約70㎢。支笏湖、摩周湖に次いで北海道で３番目、全国でも６番目の水深（179・7m）をもつ湖です。また、洞爺湖の透明度は年平均14mほど。全国の湖の中でも５番目の透明度を誇っています。



洞爺湖周辺屈指のビューポイントとしてご紹介したいのが、壮瞥公園です。洞爺湖や有珠山、昭和新山、遠くには羊蹄山、ニセコ連峰まで展望できます。また、約８万6千㎡の面積を誇る壮瞥公園は、梅の名所としても知られており、毎年５月中旬頃にかけて約300本の豊後梅の開花が楽しめます。







洞爺湖の自然を身近に楽しみたい方には、仲洞爺キャンプ場がおすすめです。このキャンプ場では、湖畔にテントをはり、四季を通じて雄大な自然を味わうことができます。夏にはSUP（スタンドアップパドルボード）等のアクティビティを体験でき、敷地内にある来夢人の家（きむんどのいえ）では、火山の恵みである温泉も楽しむことができます。

○有珠山と昭和新山

有珠山は２万年ほど前に形成され、約7～8千年前の山体崩壊で現在の姿に近くなりました。20世紀だけでも４度の噴火活動が観測され、有珠山ロープウェイで有珠山へ上がり遊歩道を散策すると、1977年の噴火でできた噴火口（銀沼火口）を見るとこができます。



また、有珠山のすぐ隣には、今なお赤茶色の山肌から白煙を噴き上げる昭和新山があります。昭和新山は、1943年の噴火活動で麦畑が隆起して生まれました。昭和新山麓の駐車場周辺には、有珠山ロープウェイ・昭和新山熊牧場・三松正夫記念館といった見学施設や、レストラン・土産店なども立ち並び壮瞥町の代表的な観光地となっています。



昭和新山の形成によって川がせき止められ誕生した新山沼（しんざんぬま）も、隠れた名所です。季節によって渡り鳥や鴨の姿が見られ、秋の紅葉も見事です。新山沼展望台では、約２万年前に噴火したといわれるドンコロ山の噴出物をはじめ、その後の噴火の様子が地層となって見てとれる自然の資料が保存されています。近隣には温泉を楽しめるゆーあいの家、そして壮瞥町で生まれ育った郷土の誇り、横綱北の湖の偉大な業績をたたえ、相撲生活18年間の歩みを辿る展示品、さらに国技大相撲の変遷や歴史を綴った資料を展示した横綱「北の湖」記念館・壮瞥町郷土史料館があります。



○その他の魅力もたくさん

壮瞥町は火山活動が盛んな地域に属し、多くの温泉が楽しめるほか、四季を通して味わえる果物をはじめとした農作物や、冬には「オロフレスキー場」でスキーも楽しめます。

ぜひ、壮瞥町へお越しください。



壮瞥町へのアクセス

アクセスの良さ！

壮瞥町は、札幌や新千歳空港も近いため、札幌に日帰りで行ったり、飛行機で旅行したりしやすい環境です。また、ちょっと足を伸ばせば伊達や室蘭などの都市部にいけることも魅力です。



伊達市	▶車・バスで20分
室蘭市	▶車で40分
苫小牧市	▶車で1時間20分（国道453号 支笏湖経由）
新千歳空港	▶車で1時間30分（国道453号 支笏湖経由）
札幌市	▶車で2時間（国道230号 中山峠経由）
	▶JRで1時間40分（札幌～伊達紋別）

URL https://www.town.sobetsu.lg.jp/access.html
詳細はこちら→

市町村から

○グルメ情報

壮瞥町で有名なグルメと言えば果物です。多くの果樹園が軒を連ねる「そうべつくだもの村」をはじめとして、壮瞥町では多くの農家さんが果物を栽培しています。いちご、さくらんぼ、プルーン、プラム、ぶどう、りんごなど、様々な果物を四季を通して味わうことができます。しかも、例えば一口に「りんご」と言っても、その品種は多種多様です。味も色も大きさも異なるりんごを楽しむことができます。



また、2015年からは町内の果樹農家や商工、観光業者等が組織する実行委員会によって、りんごを使ったシードル（りんご発泡酒）や炭酸ジュースといった特産品の開発にも取り組んでいます。そして果物以外にも、トマト、かぼちゃ、お米等、おいしい農産物がたくさんあります。ぜひ、壮瞥町にお越しいただき、四季の味覚をご堪能ください。

○そうべつりんごまつり

毎年10月に開催されるイベントで、果樹園等をめぐるスタンプラリーを行い、賞品の抽選に応募することができます。また、物産市が開催され新鮮な農産物の直売コーナーや、キッチンカーのグルメ等をお楽しみいただけます。



令和８年度は第50回目の開催となる、記念の年。コロナ禍等の苦難を乗り越え、形を変え引き継がれてきたりんごまつりに、ぜひお越しください。

○昭和新山国際雪合戦

雪国の子どもたちの定番の遊びである「雪合戦」。昭和新山国際雪合戦とは、それを共通のルールで戦えるよう競技化した「スポーツ雪合戦」の世界大会です。毎年2月に昭和新山の麓で開催され、2026年に開催された第37回大会には、全国から118チーム、約1180名の選手が集まり、雄大な昭和新山をバックに白熱した戦いが繰り広げられました。

スポーツ雪合戦のチームは、9名（出場は7名）の選手と1人の監督により編成され、強い精神力と瞬時の状況判断力、そして戦術を生み出す知力が求められ、筋書きのない戦いに会場は大いに盛り上がります。

雪合戦の普及はめざましく、全国各地で大会が行われています。また、1995年にフィンランドで海外初の大会が行われると、その後、ヨーロッパ、北米、オーストラリアにも広がり、2013年には海外11か国で構成する国際雪合戦連合も設立され、壮瞥町生まれの国際ルールに基づいた「Yukigassen」大会が開催されるなど、『スポーツ雪合戦』のグローバル化は着々と進んでいます。



移住について

比較的温暖な気候に恵まれ、果樹や野菜、お米など多様な農産物、火山を有する町の特徴の温泉施設も町内に点在しており、沢山の魅力があふれるまちです。移住先として、壮瞥町での暮らしはいかがでしょうか。

壮瞥町では、仕事・子育て・住居等、各分野で移住者に向けた支援体制を整えており、各種情報については、壮瞥町のホームページで確認することができます。壮瞥町への移住を検討していただく際には、随時移住相談を受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。「移住体験住宅」による壮瞥暮らしの体験も受け付けています。



○就業・起業支援

農業と観光業が主産業である当町では、新規就農者支援として助成金や農業研修シェアハウス等を用意しています。また、起業を希望する方に向けた事業対象経費の2分の1を乗じた額（上限100万円）を補助金として支援する取り組みを実施しています。

○子育て支援

子育て世帯を対象とした支援としては、町内から町外の中学校・高等学校・専門学校・大学等へ通学する学生の通学定期運賃の2分の1の補助、町内在住の乳幼児から高校生までの医療費全額の助成、新生児及び就学（大学を除く）するお子様がいる家庭への祝金等、子育て環境の充実に向けて、支援しています。

○住居取得支援

物件取得や住宅リフォームへの支援も行っており、新築や中古住宅の取得については、費用の10分の2以内で助成（上限あり）します。また、町内に住所を有し自己所有の住宅リフォームについて、工事費用に対して商品券による助成も行っています。

移住を検討する上で、中古住宅や土地の情報を探している方は、壮瞥町ホームページ上の「空き家バンクページ」で物件情報を確認することができます。

ふるさと納税

壮瞥町では、皆さまからいただいた温かいご寄附を(1)子ども・子育て世代の支援、(2)農林水産業・商工観光業の振興、(3)フィンランド国ケミヤルヴィ市との交流などの事業に大切に活用しています。

令和7年度は、壮瞥町特産の「りんご」をはじめ、「お米」や「とうもろこし」といった人気返礼品についてご好評をいただきました。また、壮瞥町りんご大使に就任した「アイドルマスターミリオンライブ！」に登場するアイドル「木下ひなた」のグッズも新たに加わっています。

今後も、町内でも人気の「仲洞爺キャンプ場」や「温泉宿泊施設」など、現地で壮瞥町の魅力を体験していただける返礼品の追加を予定しています。

ふるさと納税を通じた応援は、生産者をはじめ壮瞥町全体の推進力につながります。今後とも、壮瞥町への温かいご支援をよろしくお願いいたします。

壮瞥町ふるさと納税について、詳細はこちら←



※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。

●お問い合わせ
壮瞥町役場 〒052－0101 北海道有珠郡壮瞥町字滝之町287番地7
TEL：0142－66－2121 FAX：0142－66－7001
E-mail：kikaku@town.sobetsu.lg.jp
公式ホームページ：https://www.town.sobetsu.lg.jp

北海道 “NOW” information KITAKARA

北方領土プロジェクト“N”

～根室地域の高校生による啓発活動の取組～

北海道根室振興局では、令和３年度から「北方領土次世代活動促進事業」として、北方領土問題に対する理解促進と認知度の向上を図るとともに、返還要求運動を担う後継者の育成のための事業を展開しています。
本記事では、主に令和７年度に取り組んだ活動内容をご紹介します。

【北方領土プロジェクト“N”】
根室（Nemuro）で、次世代（Next generation）が、北方領土（Northern territories）について取り組む事業

オリジナル記念品でさらなるPR効果を

北方領土問題への意識高揚を図るために行われていた、「北方領土」隣接地域到達証明書事業のさらなる魅力アップのため、令和７年度からオリジナル記念品の抽選による配布を行いました。
設置スポットにある二次元コードを読み込んだ際にあるアンケートに回答いただいた中から抽選で、中標津支援学校の生徒が制作したオリジナル記念品を、計５０名の方にプレゼントしました。
今回の取り組みで、１７，２９８件のアクセスと、１，９７０名のアンケート回答が行われました。



【記念品のロゴ入り木製コースター】

【基盤づくり】高校生による自発的な活動の推進


【「北方領土の日」根室管内住民大会での署名活動の様子】
(令和8年2月)

継続的・広域的な活動により、根室地域における返還要求運動の推進を目指して、各地域イベントでの署名活動や啓発活動、「北方領土の日」特別啓発ラジオ番組の収録を実施しました。

【きっかけづくり】根室管内の高校生が領土問題について考える

北方領土問題への関心を高め、理解を深めることを目的とした出前講座を行いました。令和６年度に制作した「北方領土クイズ」を活用し、高校生が小中学生に対して、クイズを交えて楽しみながら領土問題を学んでもらえるような取り組みを実施しました。


【小中学校での出前講座の様子】
（令和7年11月）

「北方領土」隣接地域到達証明書の発行

根室管内を訪れる方や住民の方々に対し、北方領土問題の啓発を行うため、観光スポット等に掲示されたポスターの二次元コードから、デジタル版の「北方領土」隣接地域到達証明書を取得できる取組を、令和７年６月から令和８年３月まで実施しました。
令和８年度についても、令和８年６月から令和９年３月まで実施しています。



【令和7年度版到達証明書案内ポスター】

「北方領土の元島民の想いマップ」を公開中

北海道根室振興局のホームページでは、グーグルマイマップを活用し、四島での生活、ソ連軍の侵攻、強制送還などの出来事や故郷への想いについて、北方領土の元島民の方々が語る動画を紹介しています。
令和７年度には、元島民・後継者２世・高校生の３者による対談の様子を掲載しましたので、ぜひ、アクセスしてみてください。（英語版サイトも公開中です。）


【元島民×後継者（2世）×高校生
～世代を超えた座談会～の様子】

↑根室振興局HP
はこちらから

※QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

北海道根室振興局　地域創生部　北方領土対策課
〒087-8588　北海道根室市常盤町３丁目28番地
TEL：0153-23-6827　　FAX：0153-23-5336

北海道 “NOW” information KITAKARA

北海道根室振興局



コンサドーレ札幌が30周年

「道民に愛され北海道に明るい火を」

26～27年シーズン J1昇格目指す

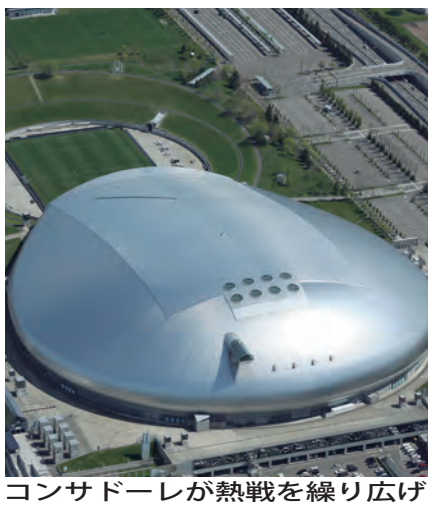
サッカーJリーグ2部（J2）の北海道コンサドーレ札幌が、創設30周年を迎えた。道内初のプロスポーツチームとして1996年に発足、2019年にはJリーグのタイトルにあと一歩まで迫った。8月開催の26～27年シーズンはJ2所属だが、次の10年で日本一を目指す。道産子選手中心の陣容で、Jリーグ1部（J1）に定着し「一層愛される存在になり、北海道に明るい火をともしたい」と、次なる目標へ向け歩み始めた。

コンサドーレ札幌は、この30年でJクラブ最多の5度のJ2降格を経験、浮沈が激しい「エレベータークラブ」とも揶揄されている。ただ、19年のルヴァン・カップでは、名将ペドロビッチ監督の下、決勝に進出。PK戦で敗れたものの、チーム初のタイトルまで、あと一歩に迫った。同チームの絶頂期だった。

24年に5度目の降格を喫し、ペドロビッチ監督は退任。その後はJ2で戦っている。

運営会社の「北海道フットボールクラブ」は、道産子選手中心チーム構成を目指す。道内出身の選手が何人もピッチで躍動して勝利を重ね、地域を盛り上げるのが最大の狙いだ。

札幌の26～27年シーズンの目標は、J1昇格。地域密着を掲げ、聖地の厚別公園陸上競技場や、函館での試合も調整中という。同クラブの石水創社長は「ルヴァン・カップのような瞬間をもう一度取り戻したい」と力を込める。



コンサドーレが熱戦を繰り広げる本拠地・大和ハウスプレミストドーム（北海道新聞社提供）

小野さん全道でサッカー教室 30周年記念事業

北海道コンサドーレ札幌の創立30周年事業の目玉として、クラブOBで元日本代表の小野伸二さんが、サッカー教室を全道で開催することになった。

計画によると、小野さんはクラブを「北海道を一つにつなぐ存在」として、10年間かけて全179市町村を訪問。天才的なボールタッチを間近で見られるサッカー教室を各地で開き、子どもたちにスポーツの面白さをアピールする。

このほかの記念事業は、札幌市中心部を「赤黒で染める」企画や、記念のロゴとユニホームでクラブの節目を盛り上げ、J1復帰を目指す。

運営会社の「北海道フットボールクラブ」は「道民みんなに愛されるクラブ」を目標に掲げており、記念事業でそのムードを盛り上げたい考えだ。

コンサドーレ札幌は1996年4月、石水社長の父、勲さん（故人）や、札幌の若手経済人らが中心となって「北海道フットボールクラブ」を設立、産声を上げた。31万筆の署名活動などが実り、川崎市が拠点だった「東芝サッカー部」が移転した。

スポーツライターの斉藤宏則さんは「テレビの中の出来事だったプロスポーツを『もっと見たい』という思いを、北海道で実現してくれたのがコンサドーレだった」と、チーム発足の意義を話している。

札幌市外国人運転手育成

独自事業を拡充 ベトナム人10人を募集

深刻な路線バスの運転手不足を受け、札幌市は外国人運転手の育成、支援に本腰を入れる。5月にもベトナム人10人を募集、日本語教育などを経て来日後は、同市内で路線バスを運行する3社が雇用する見通しだ。自治体が独自事業で支援するのは全国でも珍しい。

政府は2024年に外国人労働者を中長期的に受け入れる、特定技能制度の対象に自動車運送業を追加した。これに伴い、バス業界でも外国人採用が拡大している。

札幌市の事業は、ベトナムでの日本語学習、札幌へ渡航費などを負担する。現地での教育を終えた10人は、27年1月来日し、北海道中央バス（小樽）、JR北海道バス（札幌）、じょうてつ（同）のいずれかに入社し、大型2種免許を取得。28年度から運転業務につく予定だ。

3社の24年度のバス運転手の数は1526人。20年度から約300人も減った。加えて、運転手の7割が50、60代で今後、大量退職が想定される。市内では運転手不足による減便や廃止も相次ぎ、運行便数も19年の9456便から25年は6600便に減少している。

こんな事態に危機感を持った市が25年度から外国人運転手採用への支援を開始。本年度は、より多くの人材を確保するため、現地募集に踏み切ることにした。

市総合交通計画部は「個々のバス会社は外国人採用のノウハウが乏しく、市が支援して受け入れのハードルを下げたい」と説明している。道内では網走バスがインドネシア人を採用、根室交通インドネシア人運転手の育成を計画している。

北斗声

▼JR北海道（北海道倶楽部会員）が、道内赤字8区間の存続を巡り、列車の運行と、線路など施設の維持管理の担当を分ける「上下分離方式」を道や沿線自治体に提案する見通しだ＝2面参照。

▼筆者は「乗り鉄」を自認する。北海道新幹線が開業して10年、北海道へは往復列車旅だ。赤字8区間（通称・黄色線区）もよく乗った。宗谷線、釧網線、石北線…。どの線区も人口減少のせいか、お客はまばら。JR北が「いくら努力しても」と正直思ったこともある。

▼「上下分離方式」は、レールや駅舎の維持管理などは自治体が担い、お金を出す。厳しい財政事情の中で、道などがおいそれと首を縦にふれないのは、当然である。

▼「それでも」と言いたい。自治体側が負担を受け入れなければ、線区によっては廃線につながる恐れがあるからだ。そうなっては元も子もない。JR東日本の社長、会長を務めた、北海道倶楽部元会長の松田昌士さん（故人）から、こんな話を聞いたことがある。「鉄道マンにとって一番悔しいのはレールをはがすことだ」

▼鉄道は地域の財産であり、国の財産。存続のために上下分離方式は「やむを得ない」と思うのだが、いかがだろうか。（北）

北大東京ジンパに卒業生ら950人

開学150年を盛りあげる



ジンギスカン料理を楽しむ参加者ら

北大東京同窓会恒例の「北大東京ジンパ」が5月17日、東京・立川市の国営昭和記念公園で開かれ、首都圏各地から集まった卒業生らが、ジンギスカン料理に舌鼓を打った。パーティー終了後には近くの広場で北大寮歌を大合唱、「都ぞ弥生～♪」の歌声が広い公園に響き渡った。

「ジンパ」とは「ジンギスカンパーティー」のこと。北大東京同窓会は毎年5月にイベントを開催、一昨年は「同時に鉄板焼きをした最多人数」でギネスに挑戦し、見事に世界記録（当時）を達成した。

北大は今年「創基150周年」の節目の年。このため、「ジンパ」への関心は高く、この日の参加者は約950人に上った。

会場の同公園バーベキュー広場には、学部や同好会ごとにテントが張られ、ジンギスカン鍋をセットして「ジンパ」がスタート。

茨城県から家族で参加した卒業生は「天気もいいし、料理もビールもおいしい。先輩や後輩と親睦を深めることができ、最高の気分です」。久しぶりの再会に、各テントでは学生時代の思い出話に花が咲き、談笑の輪が広がった。



集合写真に収まる北大卒業生たち



とようら
豊浦町のご紹介

「いい人　いいまち　明日を拓く　豊浦町」

観光スポット

○日本一の秘境　小幌駅

日本一の秘境駅と呼ばれるＪＲ北海道室蘭本線の「小幌（こぼろ）駅」。トンネルとトンネルの間、そのわずか80メートルほどの限られた空間の中に存在し、道路も隣接していなければ、近隣に住民もいない秘境中の秘境駅。豊浦町に立ち寄ったらぜひ訪問してほしいスポットです。



○ホタテ釣り体験

通年実施されているホタテ釣り体験。ホタテ釣り体験はルールがとても簡単なので、年齢や性別を問わずどなたでも楽しむことができます。町内の会場はもちろん、洞爺湖温泉や登別温泉のホテルなどにも出張しています。詳細は噴火湾とうら観光協会までお問い合わせください。



○天然豊浦温泉しおさい

大きな客船のような外観の大浴場は、和風と洋風の２つのデザイン。目の前は広大な内浦（うちうら）湾を眺めることができ、露天風呂、ジャグジー、サウナなど豊富で良質な天然温泉をふんだんに用いた、多彩なお風呂が楽しめます。泉質は神経痛や冷え性、疲労回復に効能を発揮する硫酸塩泉です。仕事や旅の疲れもやさしく癒されます。また各種休憩所、レストランなどお風呂以外の楽しみも満載の施設となります。１日中時を忘れ、からだも心もゆっくりと解きほぐしてみてはどうでしょうか。



○インディアン水車

北海道を代表する水産物であるサケ。アキアジとも呼ばれ、その名の通り、毎年秋になると当町の貫気別（ぬっきべつ）川に多くのサケが遡上します。このサケを捕獲するための施設がインディアン水車です。サケのふるさと北海道においても数少ない施設で、園内では、真横からサケの遡上・水車での捕獲の様子を観察することができます。

国連の持続可能な開発目標ＳＤＧｓ【目標14：海の豊かさを守ろう】でも海洋資源の持続可能な利用に関して述べられており、この世界的な課題を考えるきっかけとして、ぜひ貴重な施設でサケの遡上をご覧いただければと思います。



○カムイチャシ史蹟公園

「神のとりで」と崇められたその神聖なまでの美しさ。カムイチャシ史蹟公園はアイヌ語で「神のとりで」という意味の通り、雰囲気のある丘の上の公園です。ゆっくりと一歩一歩、135段の階段を登って公園へ。木製の遊歩道が整備され、展望台からは大きく、くっきりと広がる噴火湾を一望することができます。長さ16ｍ、幅５ｍ、深さ３ｍにわたって掘られた壕にも神秘性がうかがわれます。また、国指定の景勝文化財「ピリカノカ」に指定されました。



○アイヌ文化体験交流施設

アイヌ文化などを次世代へ承継することを確実なものとし、地域に存するアイヌ文化などを発信し、内外におけるアイヌ関連の交流活動を活発化させ、魅力ある地域社会の形成を目標とした「豊浦町アイヌ施策推進地域計画」に基づき、アウトドアブランド「スノーピーク」の木造トレーラーハウス「住箱」を利用し、礼文華海浜公園キャンプ場に５棟設置しています。

ぜひ、ご利用してみてはいかがでしょうか。



豊浦町へのアクセス

URL：https://www.town.toyoura.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000393.html

QR コードは
こちら→



市町村から

北海道豊浦町は、北海道南西部の特徴的な湾、噴火湾（内浦湾）に面した町です。

人口は３，４００人余りの町ですが、町有面積は意外と広く、北に名峰昆布岳を擁する山岳地帯、傍らには広大な農地と牧場があり、南は噴火湾のダイナミックな海岸線。道南の比較的温暖な気候と思いきや冬はしっかり雪が積もります。

山に海にと豊富なアクティビティがひろがり、ここに来れば程良く北海道が体験できるという「小さな北海道」、豊浦町です。

○特産品

◆ホタテ

噴火湾におけるホタテ養殖発祥の地。耳づりと呼ばれる養殖方法を確立し、噴火湾のホタテ漁をリードしてきました。

噴火湾は周辺に点在する温泉からミネラル成分が注ぎ込み、良質な漁場を形成していると言われています（豊浦町にも海辺に「天然豊浦温泉しおさい」があります）。そのミネラル豊富な噴火湾で育てられたホタテはプリップリでいてやわらかく味が濃い、まさに格別のホタテです。

また毎年３月に行われる「まるごと豊浦・北の収穫祭」ではホタテの販売のほか、ホタテを利用したご当地競技「TOYOURA世界ホタテ釣り選手権」が開催されます。毎回かなりの盛り上がりを見せ、テレビ等でご存知の方もおられると思います。開催当初からの悲願であった日本テレビ「イッテQ！」にも出演を果たし、今後も豊浦町のホタテから目が離せません。

◆いちご

豊浦町特産品のエースとも言える豊浦いちご。80年以上の歴史があっていちご栽培にかけては超一流。豊浦町と言えばいちごと言われるような、北海道随一のブランドいちごです。

オリジナルの品種という訳でもないのに、なぜ豊浦いちごがそれほどのブランドを築けたのか？それは豊浦町が道南に位置し適度に寒く、昼夜の寒暖差があり、噴火湾から発生する霧によって朝に曇天が多いなどの特殊な気候条件が関係しているといいます。

毎年６月に開催される「いちご・豚肉まつり」（約３万人を動員するこの町一番のビッグイベント。）では、用意されたいちごはすぐに完売、毎年毎年お客様からお叱りをうけるほどの人気となっています。

◆ＳＰＦ豚

豊浦町の豚肉イコールＳＰＦ豚。衛生管理され特定の菌を持たない、健康で安全な豚です。とようらＳＰＦポークという名でブランド化され、きめ細やかで柔らかくジューシー、豚特有の臭みがなく冷めても硬くなりにくい、といった特徴があります。これで生姜焼き、豚しゃぶ、豚ジンギスカンなんて食べてみたら大変です。普通の豚肉には絶対に戻れません。



移住等について

○豊浦町ちょっと暮らし移住体験事業

本町は、移住をお考えの皆様に一定期間豊浦町の暮らしを体験していただくため、生活備品を備えた移住体験住宅を設置しております。利便性の確認や「移住に興味があるが、まだ不安がある」、「少しだけ豊浦町での暮らしを体験してから移住を考えてみたい」という方は、ぜひ参加を検討してみてください。

また、移住支援に関連があるものとして、地域おこし協力隊の募集や起業支援も行っています。

その他にオンライン会議ツール「ＺＯＯＭ」を利用した移住相談を行うことができます。移住体験事業への参加前に「移住を検討する上で、住まいのことなど事前に聞いてみたいことがある」や参加されない方でも「移住についてお話を聞いてみたい」という方などお気軽にお問合せください。



ふるさと納税

○豊浦町では、皆様からのふるさと納税の寄附金を、教育環境の充実や文化・スポーツ振興事業、地域産業の振興等まちづくり整備、日本一の秘境駅である「小幌駅」の存続のために大切に活用され、まちの魅力向上にもつながっています。日頃より数多くのご支援をいただき心より感謝申し上げます。

返礼品については、全国的にも評価の高いホタテやいちごなど、新鮮で高品質な特産品が人気を集めています。特に甘みと旨みが凝縮されたウニやボタンエビをはじめとする海の幸は、多くの寄附者に支持され、リピーターも増えています。他にも、米やかぼちゃと言った農作物も人気返礼品の上位にランクインしています。

ふるさと納税を通じてのご支援は、生産者等をはじめ、地域の活性化への力になります。今後とも、豊浦町へのご支援をよろしくお願いします。

（担当　企画財政課０１４２・８３・１４２２）

「豊浦町ふるさと納税」は
こちらから↓





※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。

●お問い合わせ　豊浦町役場
〒０４９－５４１６　北海道虻田郡豊浦町字船見町１０番地
ＴＥＬ：０１４２－８３－２１２１　ＦＡＸ：０１４２－８３－２１２９
E-mail：kouhou@town.toyoura.hokkaido.jp
公式ホームページ：https://www.town.toyoura.hokkaido.jp